

仙台市博物館のこれまでの取り組み

## 仙台市博物館の展示とレスキュー活動

### 震災復興祈念・支援展覧会

仙台市博物館では、平成 23～29 年（2011～2017）の間に東日本大震災の復興を祈念・支援する展覧会を計 9 回開催しました。その中のひとつである特別展 東日本大震災復興支援「若沖が来てくれました プライスコレクション 江戸絵画の美と生命」（平成 25 年〔2013〕3 月 1 日～5 月 6 日）は、被災した日本の人々の心を癒やし、復興への活力となるようにと、アメリカ在住のブライスご夫妻が貴重なコレクションの出品を申し出られたことにより実現し、多くの方々にご来館いただきました。



子ども企画のようす



展覧会ポスター

### 仙台市博物館の資料レスキュー活動

平成 23 年（2011）3 月 11 日の東日本大震災後、仙台市博物館では被災した地域の文化財や歴史資料を救出し、応急処置や一時保管を行う資料レスキュー活動を行いました。国・県・市、NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク等の組織と連携・協力し、多様な文化財



聞き取り調査風景

を救出したほか、当館独自の活動も行っています。震災直後は、仙台市内の旧家等を訪問し、歴史資料の被災状況を確認する巡回調査や、地域資料の保全についてチラシの配布を行うなどの活動や資料の救出、応急処置も行いました。現在は保全した資料を順次返却しながら、保全資料の内容を詳しく

調査したり、展示に活用したりしています。また、資料レスキュー活動を広報するためのパネル展なども開催しています。



被災資料洗浄作業のようす



資料レスキューパネル展